

1 概要

在宅医療を担う医師の裾野を広げるため、在宅医療分野への参入を検討している医師等を対象に、在宅医療に関する基礎的知識の習得や経営上のメリットを理解することを目的とした研修を実施する。

◆実施方法 県医師会へ委託予定

◆研修対象者 県内診療所、病院に勤務する医師・管理者等

◆研修概要

○ ベーシックコース5日間(座学) 1クール×30名

・在宅医療の基礎的知識を事例を通して学び、在宅医療の経営上のメリットを理解する。

○ ステップアップコース 4テーマ×30名=120名

・県地域医療教育センターを活用した実習を通して在宅医療のノウハウを習得する。

2 ベーシックコース5日間 各回2時間程度(座学) 1クール×30名

日程	テーマ(案)	内容(案)
1日目	在宅医療の背景と経営	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の背景、埼玉県現状と今後 ・在宅医療を提供する医療機関の類型 ・在宅医療に関わる診療・介護報酬のポイント ・在宅医療の報酬請求に関する行政への届出事務
2日目	在宅医療の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療の役割とやりがい ・診療における姿勢 ・在宅医療の実際 ・在宅医療の準備(物品・機器等) ・在宅医療のオペレーション(診療体制、スケジュール)
3日目	地域包括ケアシステムと在宅医療における多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携の目的 ・事業所間多職種連携の事例、病診連携 ・MCSの活用例
4日目	在宅医療に必要な医学的知識①	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患、状態別の在宅医療
5日目	在宅医療に必要な医学的知識②	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療におけるコミュニケーション ・意思決定支援(ACP)、家族ケア ・緩和ケア、看取り
講師	医師(1日目以外) 3日目の多職種連携のテーマの講師は、訪問看護師、ケアマネジャー等についても検討	

9/19の部会では、「薬や点滴などの資材の供給に当たっての薬局との連携についても研修に盛り込んでいただきたい。」との意見があった。

→ 多職種連携の視点から他にどのような内容が必要か。

3 ステップアップコース(手技の演習等) 4テーマ 各回30名
テーマは検討中